



校長室の窓から

「探究活動の重要性」

本年度もよろしくお願いたします。以下、4月8日の始業式でお話しいたしました内容の一部を転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

ここ数年、急激な勢いで世の中が変化しています。そして、そのような変化に対応するため、これまでの生活や考え方の変化が求められ、今の中学3年生から高校で習う内容が大きく変化します。いわゆる学習指導要領の改訂です。それに伴って教科書の内容も大きく変わります。どのように変わるのか、3月31日の朝日新聞の一面にその概要が掲載されていました。その見出しは「高校教科書 探究 重視」です。課題を調べて自分自身で考える「探究学習」の重視です。在校生の皆さんはその教科書を直接使用しませんが、世の中が探究学習を重視しているのに変わりはありません。そのような流れを受けて、この南高でも本格的に探究学習に力を入れており、総合的な探究の時間を中心としてすべての教科、科目の授業で「なぜ、そうなるのか」「自分だったらこう考える」といった授業展開を重要視しています。先ほどの朝日新聞の記事と同じ日の3月31日に長崎新聞のコラム欄には、県外の人、海外の人に「長崎から来ました」と自己紹介したときに帰ってくる反応について記載されていました。長崎の歴史や原爆のことを聞かれるとのことでした。そんな質問に対して皆さんはどう答えますか。自分の考えを述べることができますか。海外の人と話をするとときに、英語を流暢に使いこなすことは重要です。でも、海外の人は、その英語を使って、皆さんがどのようなことを話すのか、皆さんがどのように思っているのか、これからどのようにしたいのかを聞きたいのです。英語はそれを伝える単なるツールに過ぎないのです。そのためには、この佐世保のこと、長崎のこと、日本のことを知った上で、自分がどう感じているのか、問題は何なのか、その解決のためにどうすればいいのか、正解はないがそれぞれの考えが大事なのです。

ある本に「頭の良い人とは目の良い人だ」とありました。もちろん、視力が良いという意味ではありません。「目の中に映っている景色が全然違う」というのです。そして、この「目」は意識するだけでいくらかも良くなることができるというのです。では、どのようなことを意識すればその「目」は良くなるのでしょうか。それは「いろいろなことに対して疑問を持つ態度」が大切です。そのことを意識し続ければ自然と目は良くなるというのです。例えば、「なぜ、コンビニの近くにコンビニができるのだろう」など、日常の些細なことでも疑問に思うことで学びに繋げていくことが大事なようです。

以前、ある先輩の先生から「日食」の話について聞いたことがあります。日食は何故起こるのかについては皆さんも中学校で学んだことと思います。太陽と地球の間に月が入り一直線上に並ぶことで月が太陽を覆い隠すことで起こる現象です。ここまでは既習事項です。ではなぜ、月はちょうど太陽を覆い隠すのに「ぴったり」「同じ」大きさなのでしょう。これは、簡単に言うと、月の400倍大きな太陽が、月よりちょうど400倍遠くにあるからですが、問題は、一体なぜ、そうなっているのかです。その答えは、いまのところ「偶然」とか「そうなっているものは、そうなっている」としか言いようがないそうです。ここで私が言いたいのは、「なぜぴったり」と疑問にもつことが大事だということなのです。皆さんも、日頃の授業も含めて、「なぜそうなるのか」「そのことについて自分なりに調べてみる」ことが大事だと思います。これは、勉強だけでなく、部活動や生徒会活動などの場面でも当てはまることだと思います。

皆さんには、これからの高校生活において「探究活動」に積極的に取り組み、それぞれの希望進路実現へつなげて欲しいと思っています。

第76回 入学式

午前中の新任式・始業式に続き、午後1時30分から入学式がありました。225名の新入生が入学を許可されました。新入生代表生徒が宣誓を行いました、76回生の佐世保南高校での新しい生活が始まりました。



入学式の他の写真等は右QRコードを使ってWeb版にアクセス



学年主任から新年度へ向けてのメッセージ



一学年主任
田川 篤史 先生



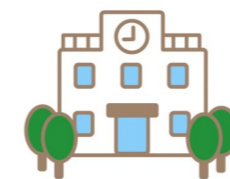
二学年主任
重松 真知子 先生

新入生オリエンテーションの講話を覚えているでしょうか。「3年間あつという間」は卒業した人間の言葉であり、15歳の人間にとってこれから迎える3年間は決して短くないものと考えます。76回生の一人ひとりがその短くない3年間を充実させてくれることを願います。新たな友人と出会い、学習や部活動をはじめ、全日制普通科の生徒として、多くの学びの中から大きく成長していきましょう。

保護者の皆様、いつも75回生の教育活動にご理解とご協力をありがとうございます。昨年度に引き続き、学年に携わることができ、幸せに思います。お子様の進路実現につなげるための中核となるこの1年が充実したものになるよう願っています。今年度の学年スローガンは「まずやってみる。そして考える。」自分の可能性を広げるための行動を起こし、この中で得た学びを成長につなげて欲しいという想いから設定しました。お子様が勇気を持って一歩踏み出す学校生活を送っていただけるよう学年団でサポートしていきます。



三学年主任
中川 卓也 先生



いよいよ最高学年としての1年が始まりました。私自身、53回生として、この学び舎で受験生としての1年を過ごしました。帰り道の夕日が美しかったことを覚えています。桜馬場までの短い通学路は、一生懸命に勉強した南高生が笑い合い、励まし合う貴重な空間でした。今年の74回生のテーマは「Teams」です。74回生という大きなTeamでもありますが、その中に様々な繋がりをもつ「Teams」があります。協力し、共有し、競い合う。全員で知恵を出し合い、「夢」を実現させましょう。

新転任者紹介



伊藤 逸郎教頭先生(数学) 佐世保中央高校通信制よりこの度の異動で、佐世保中央高校から参りました。教職員として一番長く勤務している地区が佐世保です。佐世保は、第二の故郷のような思いがしています。学習と部活動の両立を図り、進路実現に向かって頑張っている生徒の皆さんと、日々奮闘している先生方を全面的にバックアップしていきますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

田代 賢司事務長先生 高校教育課よりこの度、県教育庁高校教育課から赴任しました。始業式の際の生徒のみなさんの所作や行動のすばらしさに感動しました。伝統ある佐世保南高校の一員としてみなさんの進路実現を事務室からサポートしていきますのでよろしくお願いいたします。

神原 哲郎先生(地理) 長崎東高校より地理の担当で、この度の異動で長崎東高からまいりました。20年ぶりの南高への「里帰り」が決まった際には本当に驚きました。懐かしさもありますが、これからの南高を皆さんと一緒に築いていきたいと思っています。

楠本 亨先生(数学) 大村城南高校よりこの度、大村城南高校から赴任しました。8日の新任式の際に、生徒のみんなが先生方の話している方向に向きを変えながら座って聞いている姿に、南高の良き歴史と伝統を感じました。ひとりひとりの生徒が、心身ともに成長できる手助けができればと思っています。よろしくお願いいたします。

川下 秀一先生(生物) 長崎西高校より長崎西高校から参りました、理科担当の川下秀一と申します。本校44回生です。母校の教壇に立てることを大変光栄に思うとともに、身の引き締まる思いです。みなさんの南高魂が未来に繋がるよう、一緒にがんばっていきたく思います。

飯塚 貴之先生(国語) 五島高校より五島高校より参りました。教科は国語です。気持ちのよい元気な挨拶に迎えられ、素敵な学校に赴任できたことをとても嬉しく思っています。皆さんの自己実現・進路実現のために精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

平田 亜由美先生(国語) 北松西高校より佐世保南高校の1クラス分が全校生徒数、という北松西高校から赴任して参りました。久々の大きな学校に圧倒されつつもワクワクしております。教科は国語を担当します。よろしくお願いいたします。

井上 南先生(生物) 新規採用佐世保中央高校から赴任しました。担当教科は理科(生物)で2年生を中心に授業を行います。自分と同じ名前がついた高校ということもあり、精一杯頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

二階 滉己先生(英語) 新規採用この度、新規採用教員として佐世保南高校に赴任することになりました。島根県出雲市の出身で、担当科目は英語です。私自身わからないことが多々ありますが、皆さんと一緒に日々成長できるよう、精一杯頑張ります。

石川 伸夫先生(数学) 諫早農業高校より9年ぶりに、南高へ帰って参りました。数学の担当です。9年前とは、職員室や生徒の皆さんの雰囲気が変わっています。先入観にとらわれず、生徒の皆さんと一緒に頑張ってください。よろしくお願いいたします。

吉田 春菜先生(養護教諭) 諫早特別支援学校より諫早特別支援学校から参りました、養護教諭の吉田春菜です。本校52回生です。懐かしい学び舎に20数年ぶりに戻ってこれたことを嬉しく思います。皆さんの心と身体の健康をサポートしていきますので、よろしくお願いいたします。

水島 翔大先生(化学) 佐世保北中学校より佐世保北中学校から赴任いたしました。教科は化学を担当いたします。至らないところも多いですが、みなさんの楽しい学校生活と、進路実現に向けて精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

令和3年度入試結果について

令和3年3月に卒業した73回生の合格状況について、国公立大学103名、私立大学244名、準大学1名、短期大学4名、専門学校45名、就職12名でした(人数は延べ)。主な合格先は、九州大学や長崎大学、長崎県立大学といった九州の国公立大学、明治大学や、西南学院大学、福岡大学といった全国の私立大学などです(詳細は本校ホームページに掲載しています)。今年度の卒業生は、コロナの影響で休校や分散登校を余儀なくされながらも、先輩方と同様に最後

まで粘り強く受験に臨み、それぞれの進路を実現していきました。これらの取り組みを今後の教育活動に生かしながら、在校生の進路実現のサポートに努めていきたいと思えます。

その他詳細は右のQRコードでWEB版にアクセス



新入生研修

新1年生(76回生)225名は4月12日(月)と13日(火)、新入生研修に参加しました。高校生としての自覚を再確認し、クラス活動(レクリエーション)や集団行動、校歌・応援歌の学習などに取り組みました。各分掌による講話では、学びの目的や意義、集団・公共の場における振る舞いについて学びました。研修の振り返りでは、「南高生としてのプライドを持ち、公共でのマナーをしっかりと守り、三年間勉強に励みたい。」や、「佐世保南高校に入学することができたので、先生方や家族、色々な人に感謝しながら、高校生活を送りたい。」「本気で頑張っている人には本気の人たちが集まってくる。応援される高校生になりたい。」などの感想がありました。新型コロナウイルス対策のため、集団行動や校歌の練習は通常よりも規模を縮小しての実施となりましたが、生徒一人ひとりにとって高校生としてどうあるべきかを学ぶための貴重な体験となりました。



5月行事予定(予定)

- 5月12日(水)~14日(金) 一学期中間考査
- 18日(火) 眼科検診(1年)
- 19日(水) 前期生徒総会・耳鼻科検診(1年)
- 24日(月)~28日(金) 高総体強化週間
- 26日(水) 歯科検診(1・2年)
- 27日(木) 歯科検診(2・3年)
- 31日(月) 高総体振休

※コロナウイルス感染拡大防止のため急に変更になる場合がございます。

※緑柏の発行は、次号から二ヶ月に一回の発行となります。内容をより充実させたものにいたしますので、ご理解とご協力をお願いします。